

2022年度版 スコアリングレポート等から見る 広島支部の健康課題



広島支部の課題について

①医療費の適正化

◎入院外（調剤含む）の1人当たり医療費が高い

- ・新生物の入院外（調剤含む）1人当たり医療費が全国平均を上回る。
- ・年代別では、55歳以上の年齢階級別加入者の入院外1人当たり医療費が全国平均を上回る。
- ・また、広島県の後期高齢者（75歳以降）において、入院外1人当たり医療費が全国46位（年齢調整後：全国44位）と高い（令和3年度）。
- ・ジェネリック医薬品の使用割合が全国平均より低い（令和5年5月現在：81.4%で全国37位）。

②健診受診の推進

◎健診受診率が低い

《生活習慣病予防健診（被保険者）》

- ・令和4年度実績は56.9%で全国平均より高いが全国36位と低位。
- ・規模別では、被保険者が10名未満の事業所において実施率が50%未満で低い傾向。業態別では、対象者数1万人以上の業態のうち最も低い「職別工事業」が全国平均より約4pt低い。

《特定健診（被扶養者）》

- ・令和4年度実績は24.6%で、全国41位と低位。
- ・地域別では、30万人以上の規模である「福山市」が唯一、全国平均よりも極めて低い。また、「10万～30万人未満」の規模における実施率も全国平均よりも極めて低い。

③健診結果の改善

◎健診結果において、代謝（血糖）リスクが高い

- ・業種別では、「道路貨物運送業」「機械器具製造業」の割合が高く、該当者が多い。
- ・年代別では、35歳～74歳のどの世代においても、全国平均を上回る。
- ・内分泌、栄養及び代謝疾患（脂質異常症、糖尿病等）の入院外1人当たり医療費が全国平均を上回る。

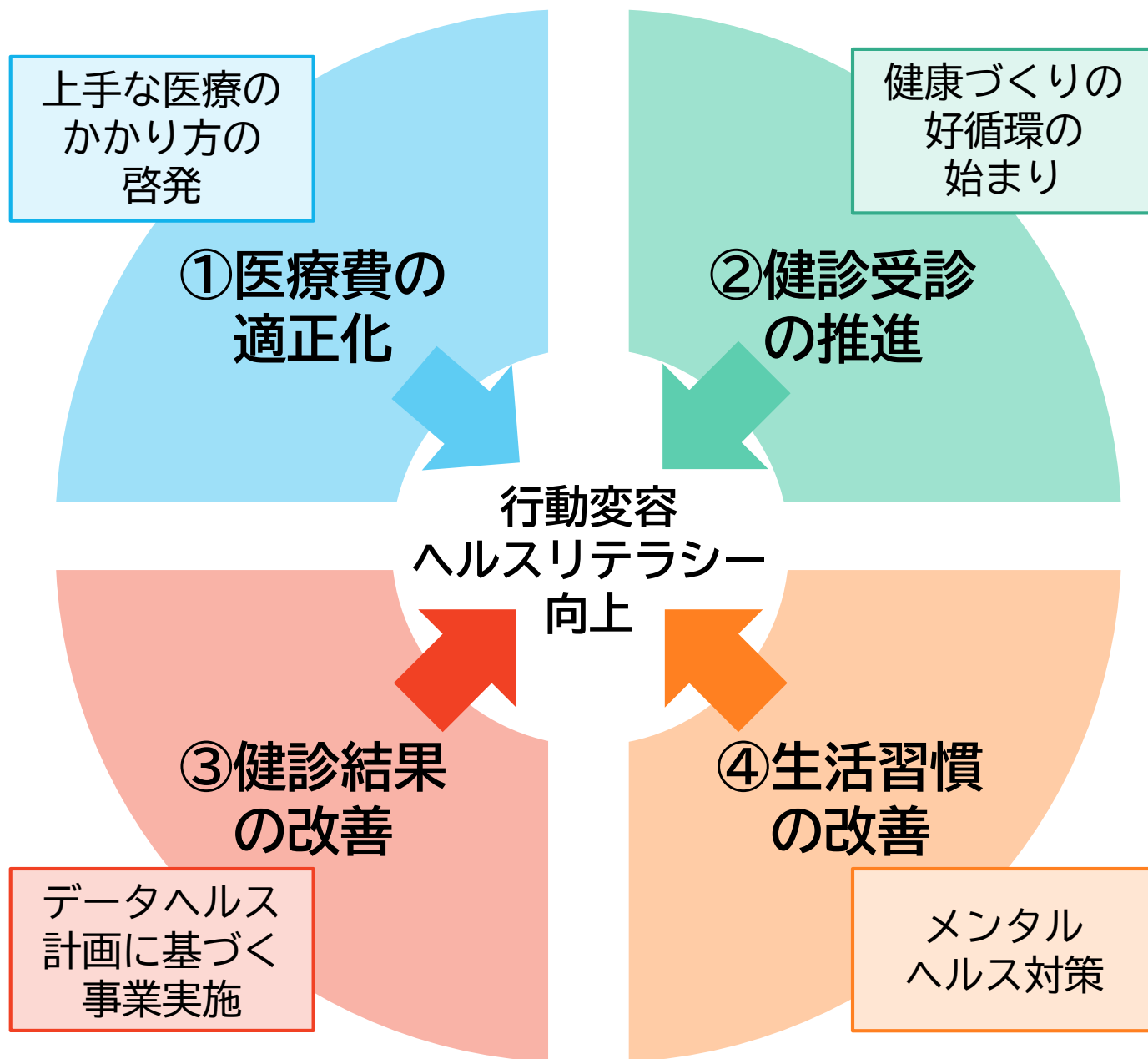
④生活習慣の改善

◎健診時の問診結果において、睡眠で休養が

取れていない方の割合が高い

- ・地域別では、広島県西部が高い傾向。業種別では、「道路貨物運送業」「機械器具製造業」の割合が高く、該当者が多い。
- ・精神及び行動の障害による入院外1人当たり医療費が全国平均を上回り、男性と比較して女性が高い。
- ・令和2年度問診結果における睡眠で休養が取れていない方が、令和3年度におけるメンタル系発症はオッズ比で正の相関（1.25倍）で関連があった。

課題解決に向けた重点施策における広島支部のコンセプト



(参考) データ資料

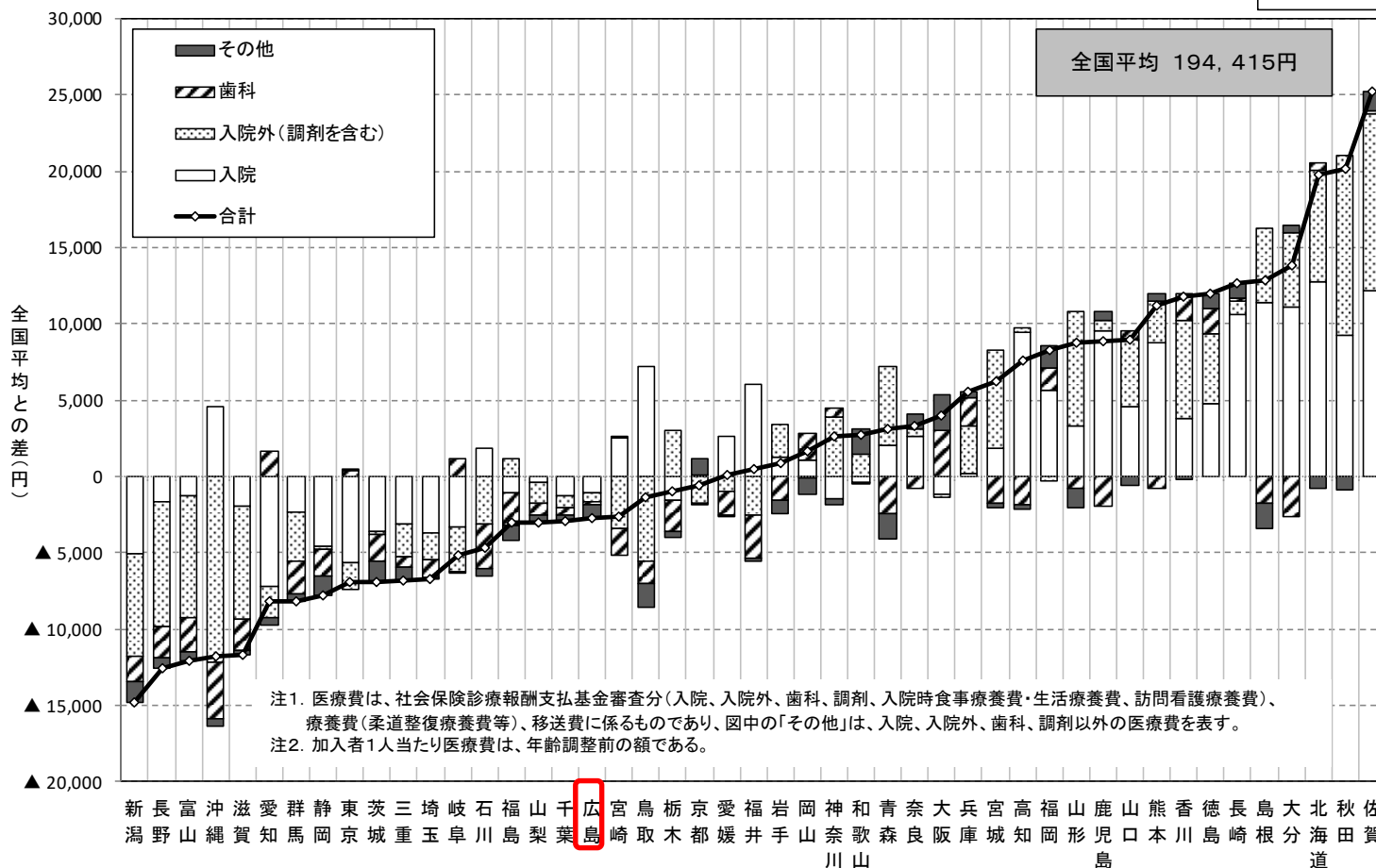
広島支部の課題

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整前)

加入者1人当たり医療費は都道府県支部毎に差が生じているが、これは都道府県支部毎の加入者の年齢構成に違いがあることが1つの要因としてあげられる。

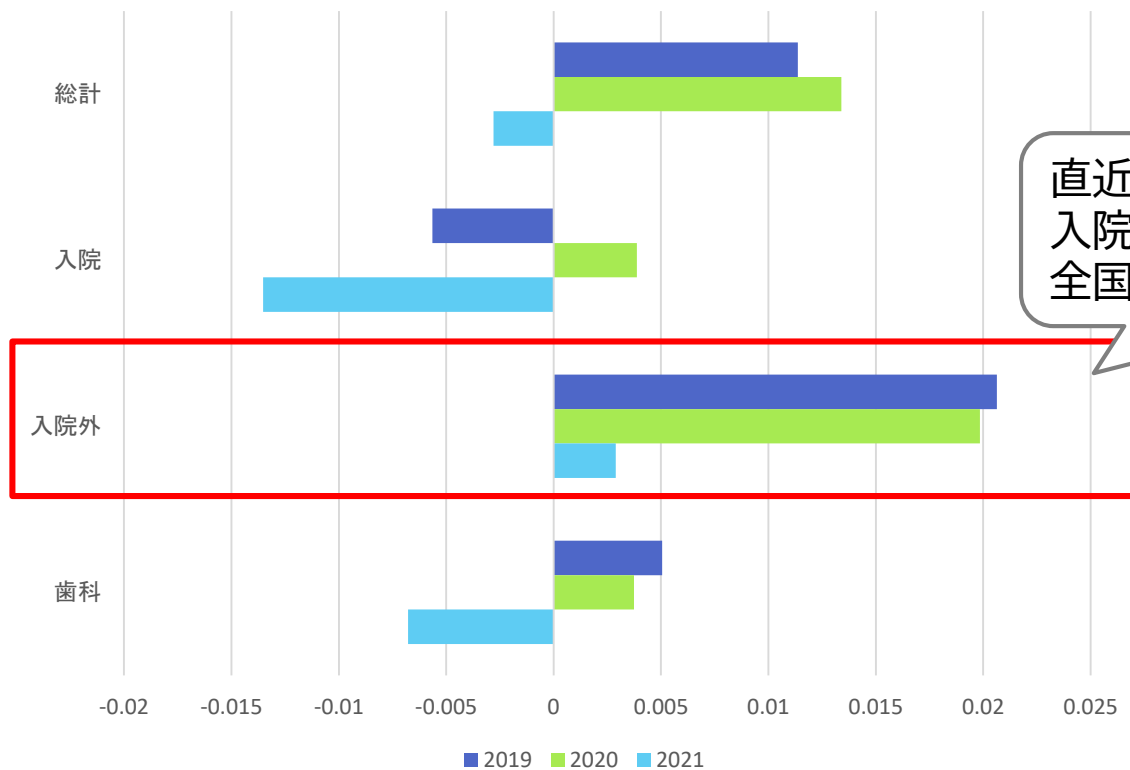
都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(令和3年度)

年齢調整:なし
所得調整:なし



①入院外（調剤含む）の1人当たり医療費が高い

《 1人当たり医療費の地域差指数 - 1 * 》

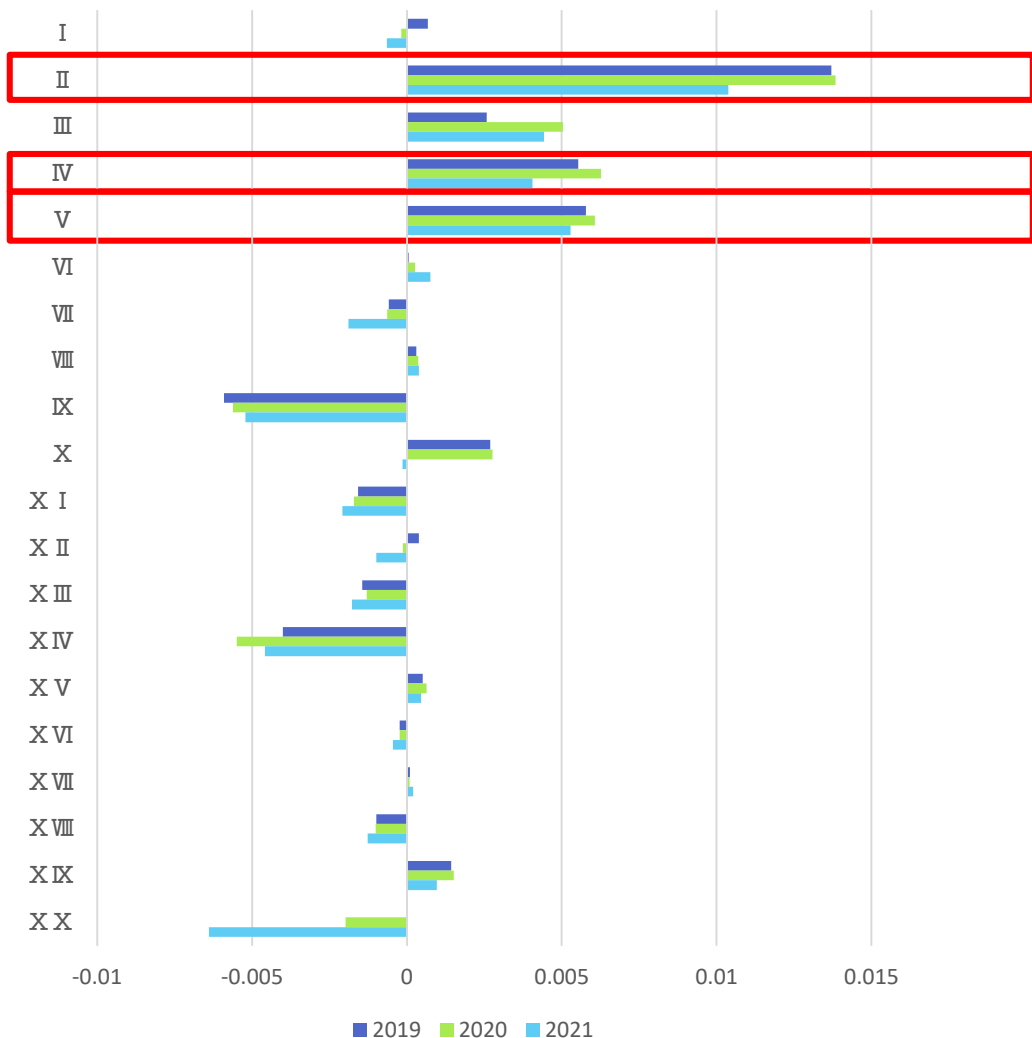


直近3年度とも、
入院外医療費（調剤含む）が
全国平均を上回っている

*地域差指数 - 1
医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの。
0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示している。

①入院外（調剤含む）の1人当たり医療費が高い

《疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)》

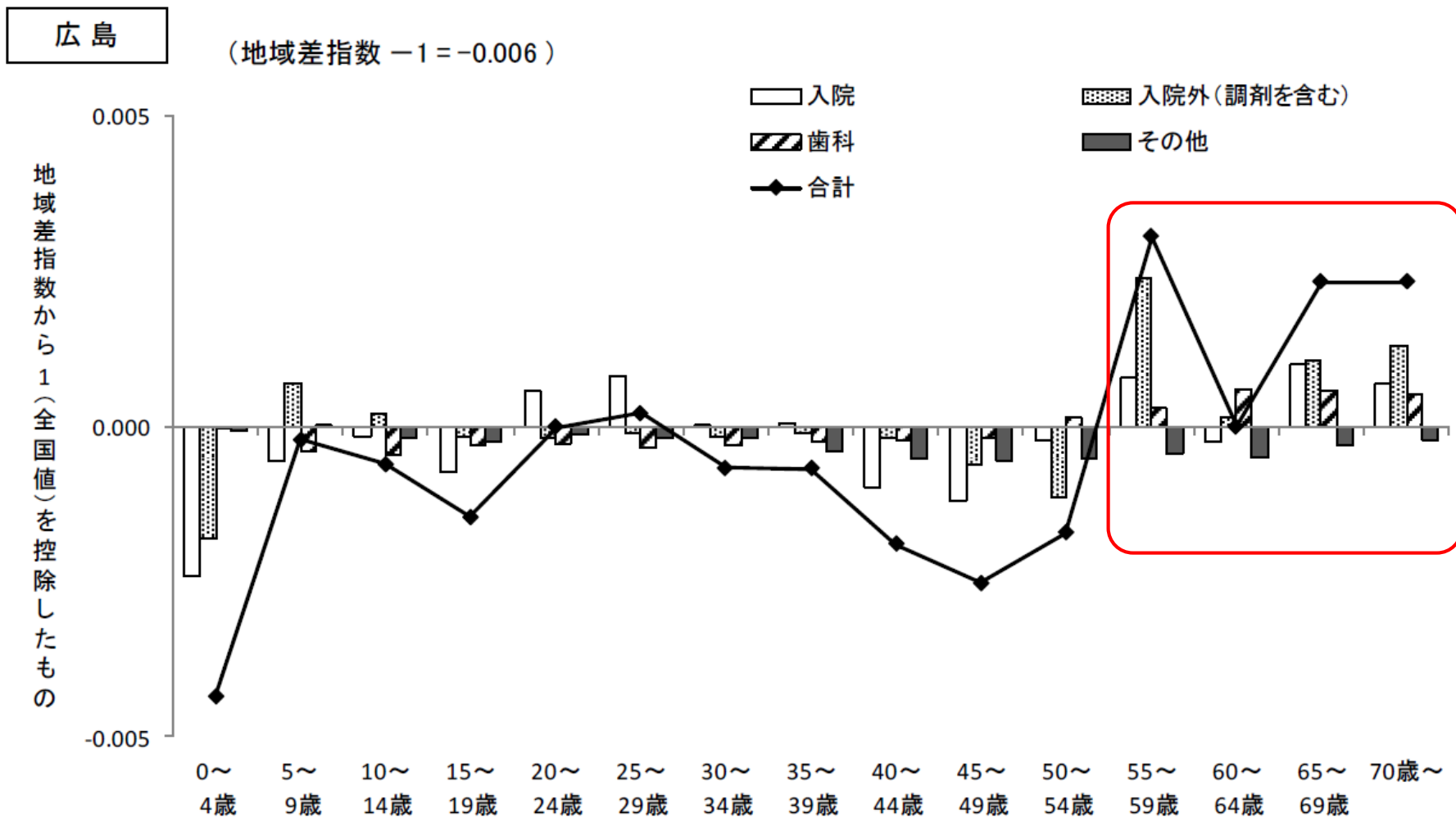


新生物に次いで、
精神及び行動の障害、
内分泌、栄養及び代謝疾患が
全国平均を上回っている

- I 感染症及び寄生虫症
- II 新生物**
- III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害
- IV 内分泌、栄養及び代謝疾患**
- V 精神及び行動の障害**
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳様突起の疾患
- IX 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV 腎尿路生殖器系の疾患
- X V 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・
異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X X 特殊目的コード

広島支部の課題

《年齢階級別診療種別地域差指数（令和3年度）》

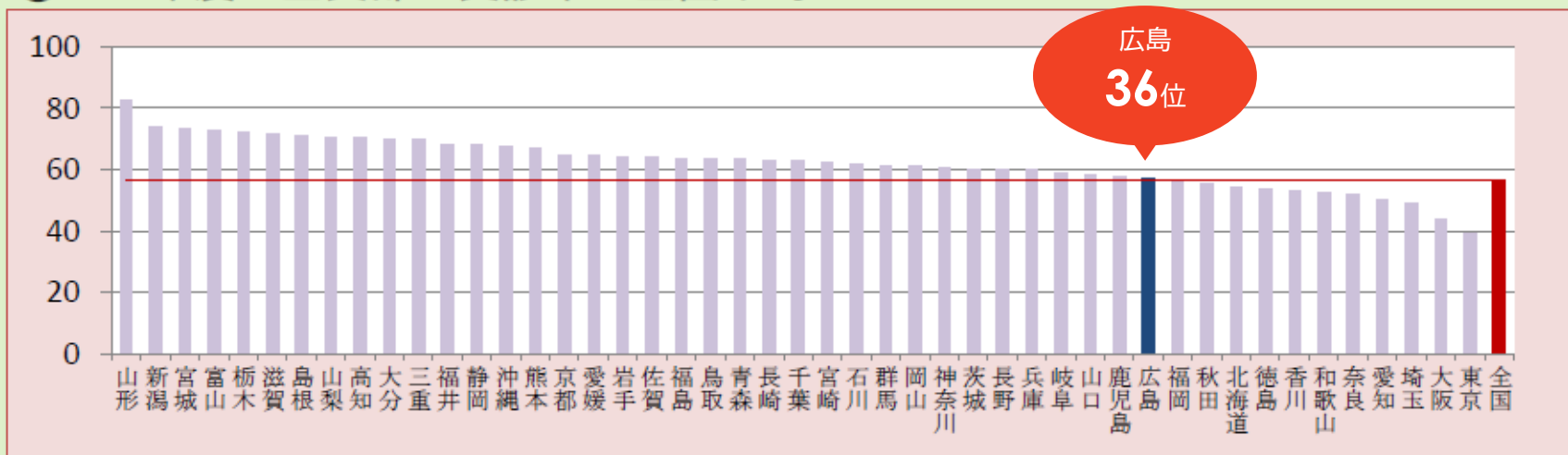


②健診受診率が低い

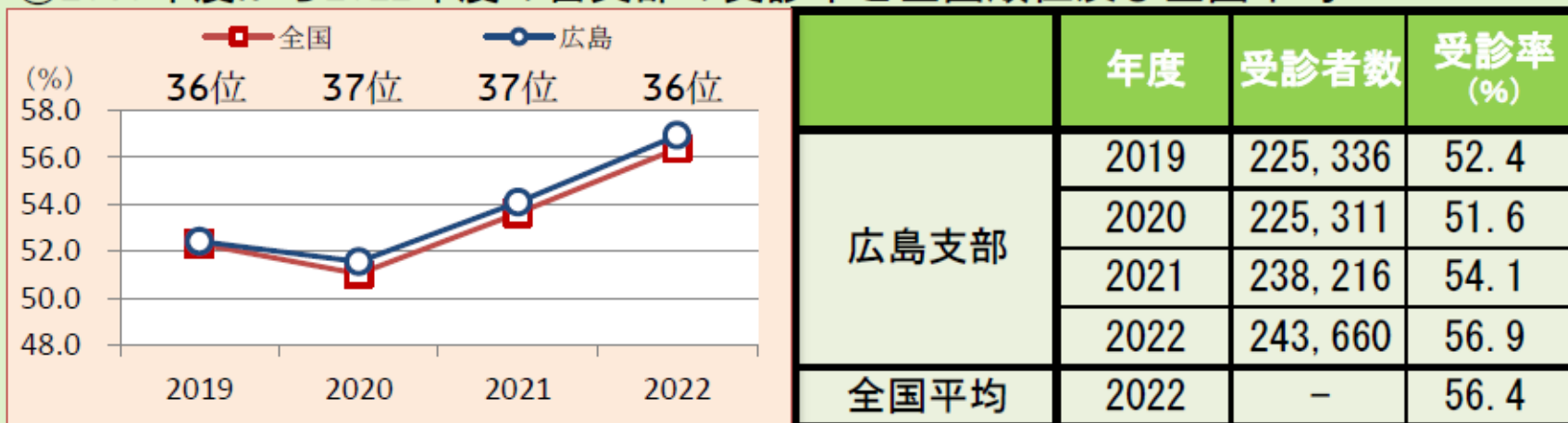
《被保険者の生活習慣病予防健診受診率》

①2022年度の全支部の受診率と全国平均

(%)



②2019年度から2022年度の自支部の受診率と全国順位及び全国平均



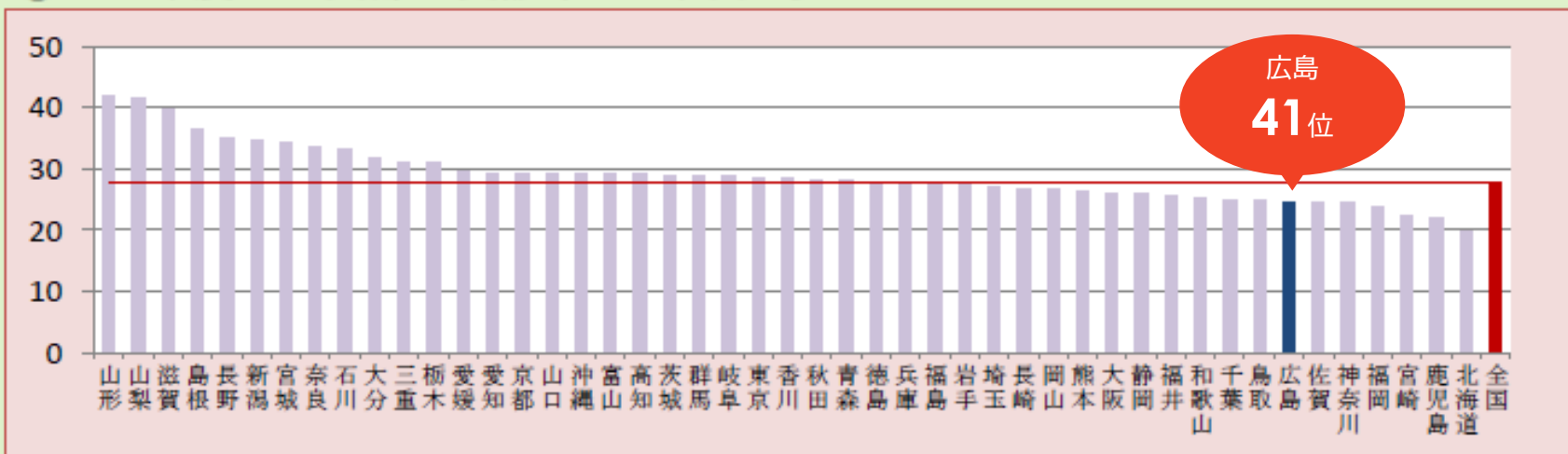
広島支部の課題

②健診受診率が低い

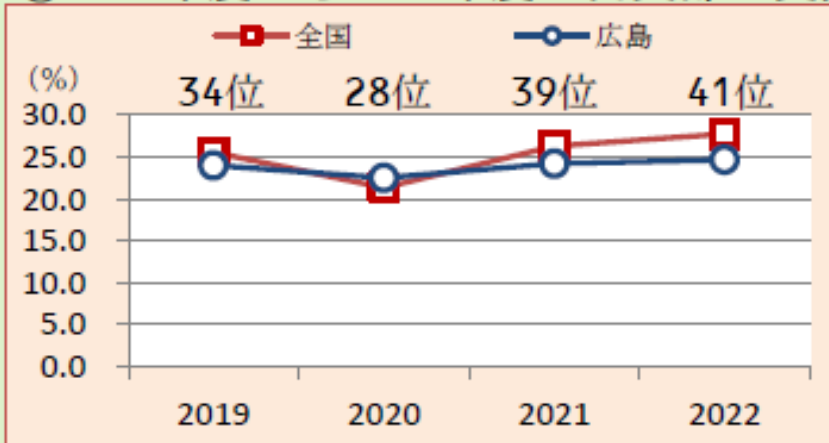
《被扶養者の特定健診受診率》

①2022年度の全支部の受診率と全国平均

(%)



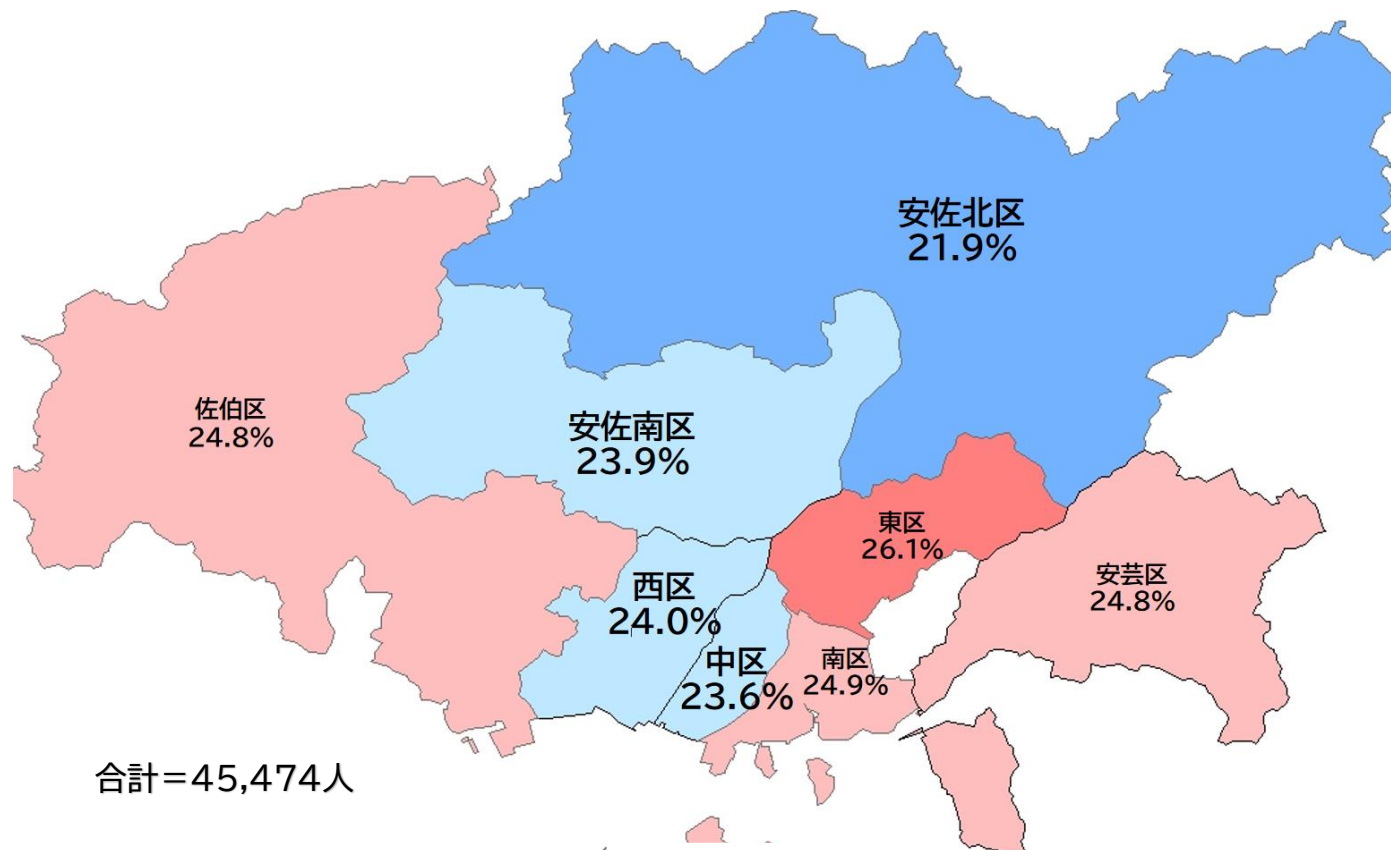
②2019年度から2022年度の自支部の受診率と全国順位及び全国平均



	年度	受診者数	受診率 (%)
広島支部	2019	27,808	24.0
	2020	25,753	22.5
	2021	26,899	24.2
	2022	25,555	24.6
全国平均	2022	-	27.7

②健診受診率が低い（被扶養者）

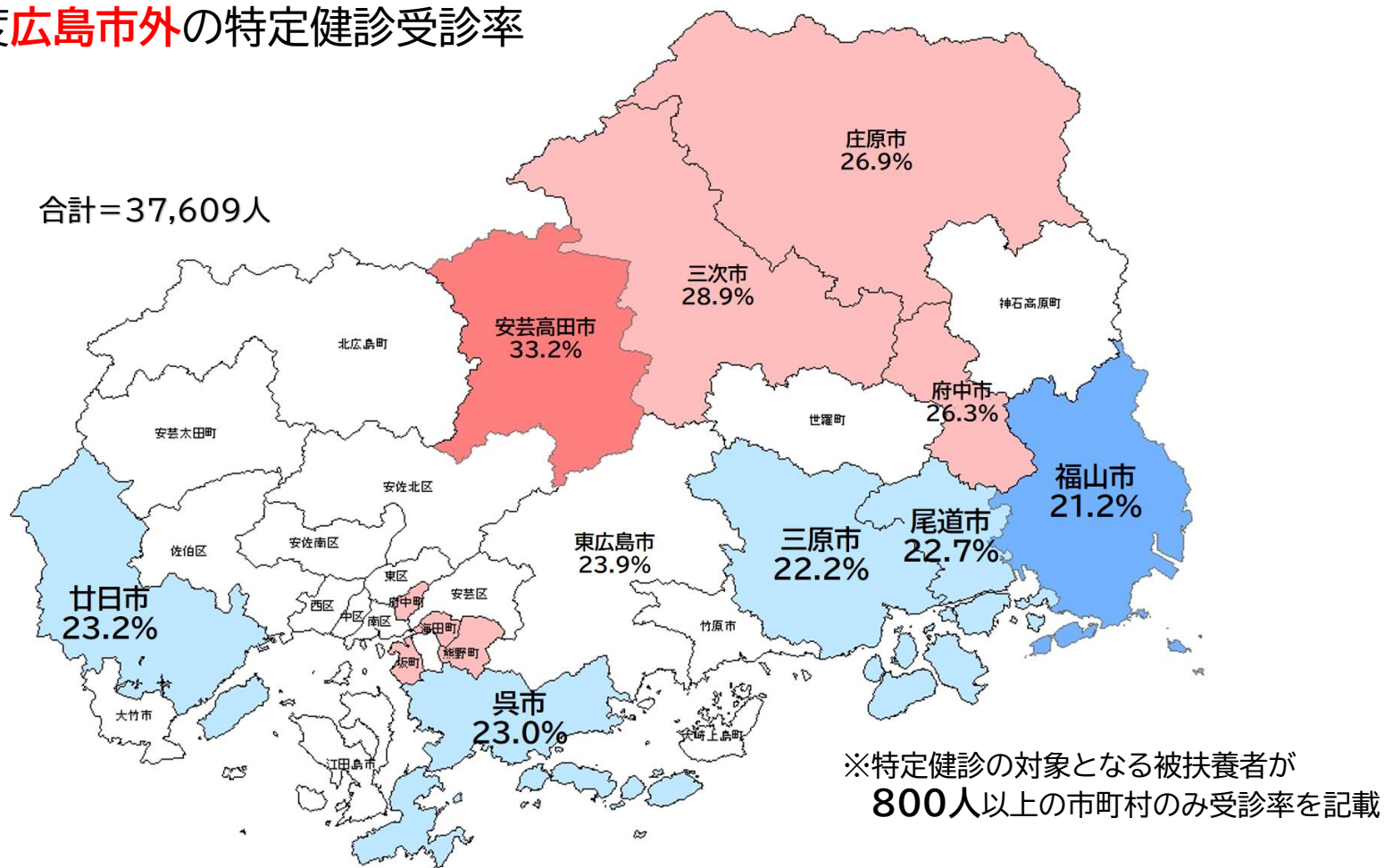
令和3年度**広島市内**の特定健診受診率



⇒広島市内の受診率は、**安佐北区**が特に低く、
その他、**安佐南区・西区・中区**が低い傾向にある。

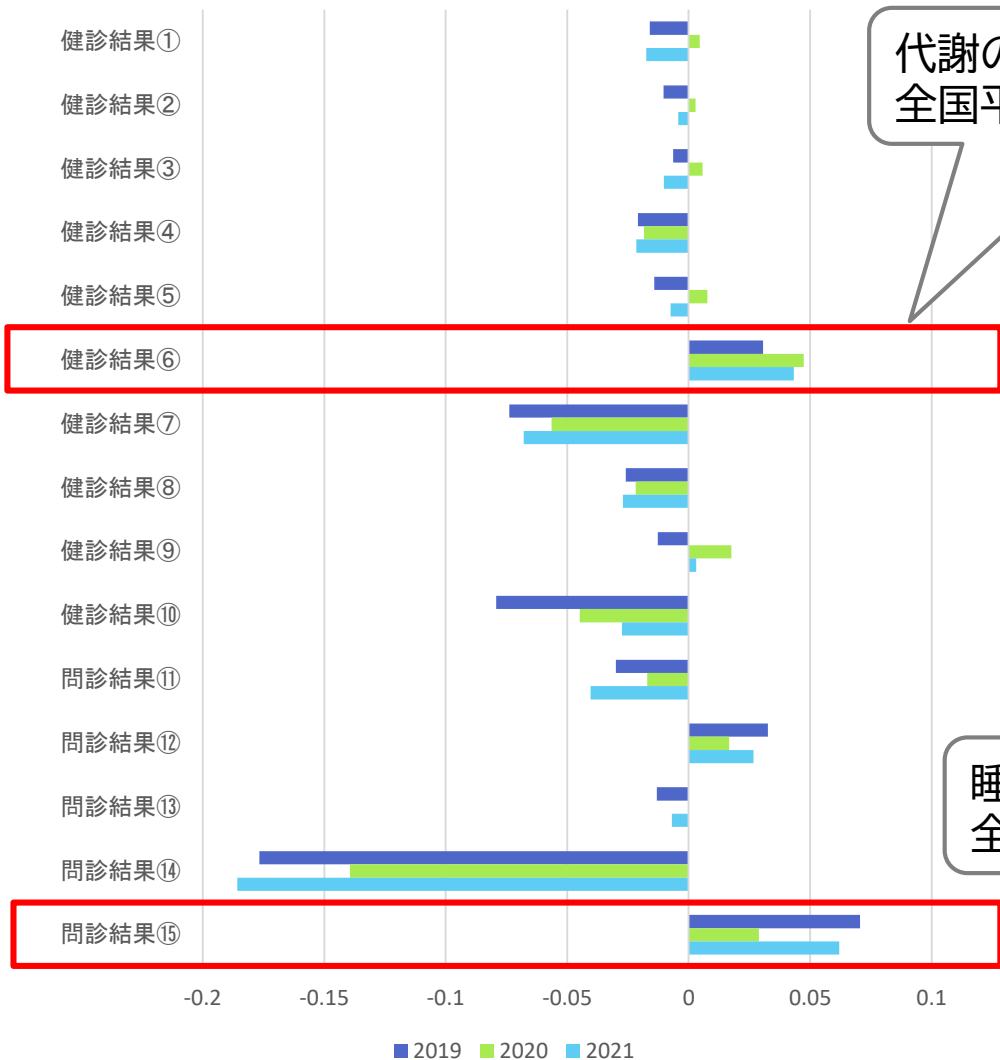
②健診受診率が低い（被扶養者）

令和3年度**広島市外**の特定健診受診率



⇒広島市外の受診率は、**福山市**が特に低く、
その他、**尾道市・三原市・呉市・廿日市市**が低い傾向にある。

- ③健診結果において、代謝（血糖）リスクが高い
- ④健診時の問診結果において、睡眠で休養が取れていない方の割合が高い



代謝のリスク保有率が
全国平均を上回っている

- ①メタボリックシンドロームのリスク保有率
- ②メタボリックリスク予備群の割合
- ③腹囲のリスク保有率
- ④血圧のリスク保有率
- ⑤脂質のリスク保有率
- ⑥代謝のリスク保有率
- ⑦喫煙者の割合
- ⑧BMIのリスク保有率
- ⑨中性脂肪のリスク保有率
- ⑩HDLコレステロールのリスク保有率
- ⑪体重10kg以上増加者の割合
- ⑫運動習慣要改善者の割合
- ⑬食事習慣要改善者の割合
- ⑭飲酒習慣要改善者の割合
- ⑮睡眠で休養が取れていない者の割合

睡眠で休養が取れていない者の割合が
全国平均を特に上回っている

(その他の参考)
 ・第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の振り返りについて [資料2-3]
 ・令和4年度健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査 [令和5年7月11日開催 評議会資料3]